

コロナから命を守る政治を

野党共闘で政権交代を
五輪やめコロナに集中を

菅内閣は、有観客によるオリンピックパラリンピック開催に固執し、専門家集団の意見すら聞こうとしていません。「大きなリスクを負ってでもオリパラ開催の理由は何か?」：日本共産党志位委員長の質疑が注目を集めるほど、菅内閣の説明責任、様々なリスクに対する対応の乏しさに国民的怒りが広がっています。同時に振り返れば、市独自検査センター設置、「疑似」患者を含め感染者の入院補助など「声を上げれば政治は変わる」という実例は、ワクチン接種フリーダイヤルの導入、集団接種の大幅拡充などさらに広がっています。党市議団は、一般質問や委員会審査にとどまらず、討論、国や県への意見書発議など持てる権利を最大限活用し、市民とともに願いを実現できる政治へ、引き続き一緒に頑張ります。

会期	6月17日～7月7日	21日間
6月	17日(木) 本会議 午後1時開議 22日(火) 25日(金)	(議案15件、請願・陳情6件、発議6件)
7月	1日(木) 都市建設委員会 7日(水) 本会議 午後1時開議	一般質問 午前10時～ 総務委員会 教育福祉委員会 市民経済委員会 都市建設委員会

一般質問

小田 桐たかし議員 6月24日(木) 午前10時

- 市長の政治姿勢について
①安全かつ迅速なワクチン接種をさらに加速化させるために、トップの政治的判断や取り組み姿勢が問われているが、市長の見解を問う。
②オリンピック・パラリンピック大会について問う。ア、準備や事前キャンプ、歓迎式典、パブリックビューイングについて
イ、市内小中学校児童・生徒の競技観戦について
2、新型コロナウイルス感染対策について
①感染症対策やワクチン接種への対応などで、負担が増大する市職員の実態把握と改善策について
②医療、介護、福祉、保育、学校、市役所各窓口など市民生活の基盤的職場に対し、PCR検査が受けられるよう対策を充実すべきだがどうか。
③「20万都市」となった本市で、感染症対策に大奮闘された保健・医療体制の強化策について問う。

いぬい 紳一郎議員 6月24日(木) 午前11時頃

- 教育行政について
①南流山小学区の新設小学校と旧東洋学園大学への

南流山中移転計画について問う。
ア、南流山中の移転計画について、関係する住民との合意は得られたと考えているのか。
イ、南流山中は千人を超す過大規模校となるが、旧東洋学園大学を生かし、充実した教育環境を準備すべきではないか。
2、環境問題について
①菅首相は2050年の温室効果ガスの排出実績ゼロを宣言。政府は脱炭素に向けて動き始めたが、流山市の取組をどのように前進させていくのか。
②ごみ焼却施設の長寿命化が大きな課題となっているが、脱炭素社会の時代にふさわしい廃棄物行政をどう推進していくのかを問う。
ア、指定ゴミ袋制は市民的な合意が得られていると認識しているのか。来年4月からの本格実施は延期すべきと考えるがどうか。

植田 和子議員 6月24日(木) 午後1時頃

- 保育所の量と質の確保について
①保育所数は市内全域で、偏りなく充足しているか。
②政府は「短時間勤務保育士の活用促進」を打ち出しているが、保育士全員が短時間勤務保育士になるような事態は避けるべきではないか。
2、コロナ禍で困窮する女性・子どもの支援対策とジェンダー平等社会実現について
①コロナ禍で差別・格差が拡大しているという認識はあるか。
②様々な性的被害・差別があるが、被害者の痛みに寄り添う支援対策は確立されているか。
③「生理の貧困」は深刻であり、市としても女性への支援が必要と考えるがどうか。
④流山市の諸方針決定の場への女性参加や、女性幹部を増やすことへの計画について
3、難聴者への支援として、補聴器購入費への助成措置を実施する方向へ踏み出すべきではないか。

高橋 あきら議員 6月24日(木) 午後2時頃

- ヤングケアラーに対する支援の拡充について
①中高生を対象とした初めての全国調査が行われたが、実態調査についての市の見解を問う。
②ヤングケアラーの支援に向けた、体制整備、相談窓口の明確化が必要と考えるがどうか。
2、ゆきとどいた学校教育について
①小学校における35人学級の実施について、流山市での実施状況と今後の課題について問う。
②流山市の教職員の未配置の問題について
3、熱中症対策として、エアコン購入費・設置費と電気代の助成が必要と考えるがどうか。
4、「松ヶ丘ふるさと公園」が伐採され、隣接する「松ヶ丘散策の森」の保存を求める地域住民の声を耳にするが、今後の市の方針について見解を問う。